



2021年5月14日

各 位

会 社 名 フジコピオン株式会社
 本社所在地 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号
 代表者名 代表取締役社長 光本 明
 (コード 7957 東証2部)
 問合せ先 常務取締役 管理部長 上田 正隆
 電話番号 06-6471-7071

2021年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|-------|-------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 3,900 | 20 | 40 | 20 | 13.06 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 4,240 | 145 | 180 | 135 | 88.18 |
| 増 減 額 (B-A) | 340 | 125 | 140 | 115 | |
| 増 減 率 (%) | 8.7 | 625.0 | 350.0 | 575.0 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期) | 4,027 | 63 | 77 | 28 | 18.82 |

2. 修正の理由

2021年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、下表のとおり、全体として前年度第3四半期で底打ちし、回復基調でございます。具体的には、サーマルトランスファーメディアにおける新型コロナウイルスの影響を受けにくい分野への積極的な拡販、テープ類での販売回復のほか、徐々にではありますが中期経営計画の柱の一つである新規開発製品が売上および収益面に寄与しはじめていることに加え、当社子会社業績が堅調に推移していることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

なお、2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症や米中問題の長期化など不確定要素も多いことから、現在精査中であり、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

(四半期別売上損益状況)

(単位:百万円)

| | 2020年 | | | | 2021年 |
|----------------------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
| 売 上 高 | 2,084 | 1,943 | 1,691 | 1,825 | 2,103 |
| サーマルトランスファーメディア | 1,107 | 1,108 | 980 | 1,085 | 1,131 |
| インパクトリボン | 196 | 184 | 158 | 154 | 162 |
| テープ類 | 491 | 372 | 275 | 321 | 490 |
| 機能性フィルム | 78 | 96 | 84 | 112 | 134 |
| その他 | 210 | 180 | 191 | 151 | 184 |
| 営 業 利 益 | 68 | △ 5 | △ 99 | △ 79 | 91 |
| 経 常 利 益 | 60 | 16 | △ 94 | △ 62 | 114 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 32 | △ 3 | △ 122 | △ 87 | 106 |

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上